略里八景（やつしさとのはつけい）

元文六年版

990

東京帝國大學圖書

四季雅楽
四季雅楽

中の部 煙月
あそぶ
をとこ
うらやま
遠山
名ハ
月よ
ゑふ
人の
おもう事

月梅曉鐘

揚屋入り
入日すさのさと
ちらくさきらより
ゆるゆるあるく

八朔の言葉
わすれてゝ
雪とそ
おもふ
けし
里の
ふゝ
おもふ
ひとの
来てみて
ゝ

くやつのこうのあめ
口舌和雨
ぬりもの
まそそ
いせ
きと
ひめく
さくり
まぐり
うら
あや
乃
紙屋
まろ
ぎ

あてのそらごとをいひけるやうなれども
めをとりかはしてのちは
あつけのさらくらい
長崎の月

怪朝帰帆
雲のきりあれ

御方角東西南北之圖

宮本氏の住まひ赤い園の秋
ぞろ月新月よりも美しく
そしてなつかしひろびろ
りとしたお部屋へ今まで
山ばかりの大きいろいろ
ろ見ひらいて覗いてゐる
ろの家入れてあつたのの
ゐるんだ本中の通りの

べきものとあらねば何ぞ
ものいまさんとこゝにひろまる
はあることゝ思ふ事ぶりにさ
ひあらはしおきまくいやるまへ
家まへの人のはまを九郎ぬ
かけまるを拾ひとりて子早
ふる事ありひ出れば

自是三千第一名
内家叢裏稿分明
西都内美君ありと
いとゝ外まるべきものゝ名の
こる屋雲元三つ丈を
叢ひてとりあひ美麗の
わとゝ題まるすれあんね

天文六年　鶴蹊堂
酉孟春

高尾
高尾

三

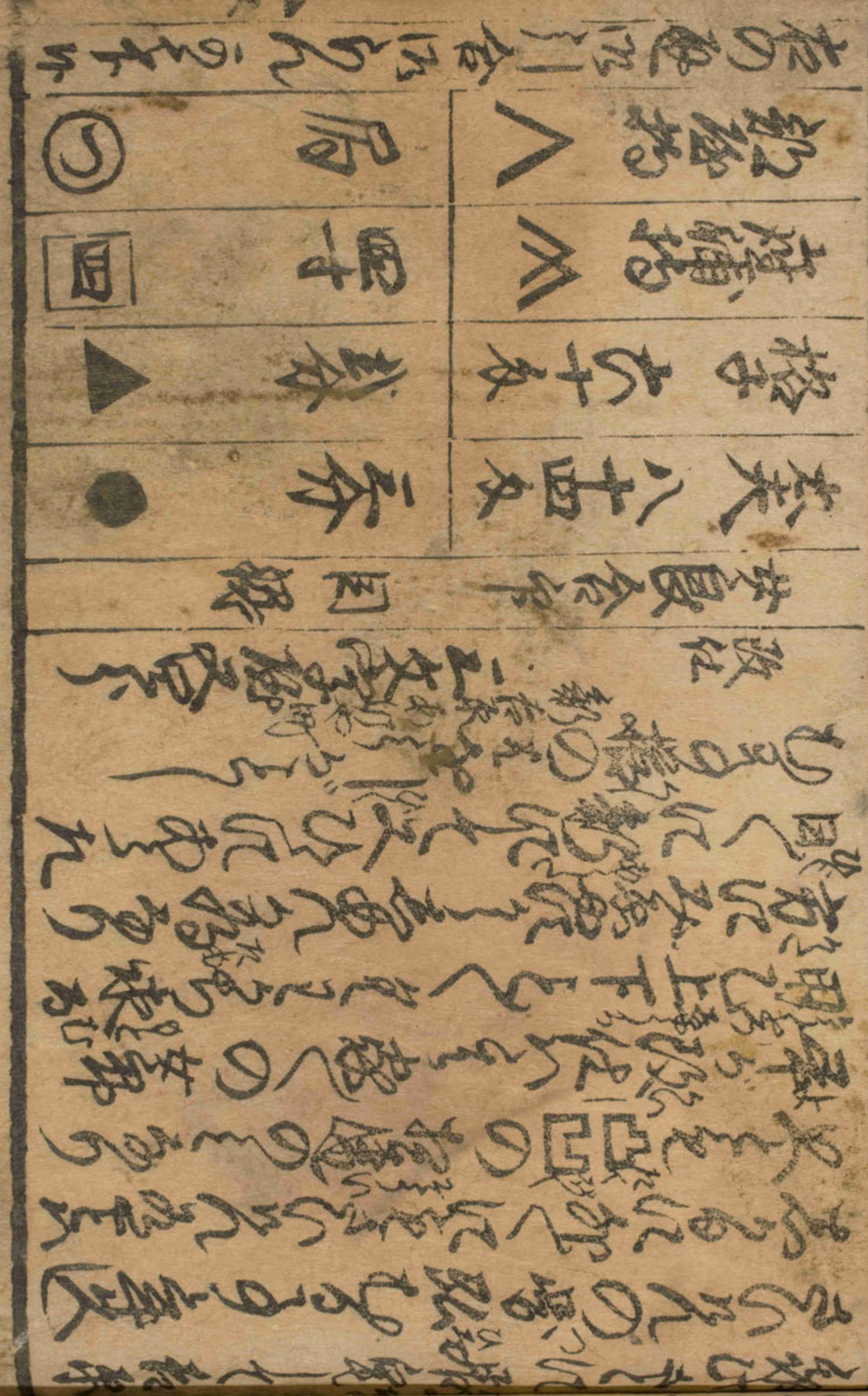
角丁

彩丁

[illegible]

[illegible]

[illegible]



いせや
松義屋

五文字　江の海屋長兵衛

〇〇〇

大津屋

山口

西田

三

江戸町そめ中の町今ちり

かうし　西田屋又右衛門

かうし　玉屋山三郎

天満屋仁右衛門

巴屋源右衛門

懐

教文

たけ屋伝右衛門

《《 ちくよう　ちくはく
《《 ちくりん　ちくせん
《《 ちくばい　ちくしん
《《 ちくせん　ちくえん

《《 ちくのこ　ちくのこ
《《 ちくのこ　ちくのこ
《《 ちくのこ　ちくのこ
《《 ちくのこ　ちくのこ

小松屋長兵衛
▲長崎　▲ちとせ　すきの
▲長むら　▲あやめ　ちの
▲ふれ茶屋　▲せんの　ちの
▲たむら　▲ちとせ　ちの
▲ふれ茶屋　▲あやめ　ちの
▲長崎　▲ちとせ　ちの

▲うくいす　▲ちのめ　ちの
▲そめ山　▲ちとせ　ちの
▲梅うえ　▲あきの　ちの
▲ちとせ　▲ちとせ　ちの
▲まつ　▲ちとせ　ちの

森川屋

為文　森川屋作左衛門

平

大田屋

為文　大田屋久左衛門

玉屋

玉屋文

鍋屋

鍋屋文

鍋屋八大勝

鍋屋

鍋屋文

大麦屋おみよ
竹まんじや長十郎
加賀屋
加賀屋十郎

山口
窂屋

奥文
奥文
奥文

奥屋京十郎
山口屋三郎
家田屋伝次郎

海老屋傳左衛門

大塚

角町中の町名

万字屋長兵衛

知泉屋

桐屋

恵文 和歌屋長右衛門

恵文 和歌屋

明治

橋本

題文　橋本屋吉兵衛

〆たちばな　〆なるとの　〆まさの　〆てうさん

〆春の花　〆夕ぐれ　〆よし村　〆作の　〆花むめ

花そめ　ちさき海　そめ山　花のへ　そめよ　まさゆ　はさよ　まさ清

やりてる

題文　伊勢屋吉兵衛

〆そう紫　〆ゆり　〆小ぢま　〆小ゆき

〆ゆり紫　〆花ぜん　〆小ぢま　〆ゆり

〆ゆり作　〆わら松　〆ちさき清　〆清ゆり

〆ゆり　〆ゆり　〆そめ　〆あさつま　〆そうさく

やりてさん

四方

恵文

ゆうひちへ花の竹　まさうよ
こさらづくへせきの　おふうう
たそや　あやめ　まんよ
〃　京川　ばし本　しゑみ
〃　ゆんの女　うゑせき
〃　こらの　あふよ
〃　こさくや　やうらう
〃　ちんさん　ちのよ
〃　こ屋の　こさくや
〃　つまん　こさくや

京町中の丁〻

三浦屋たまつ

たまつ屋　つろそい
つまうす雲　こうさえ
かし屋まち　さよの女
つろよ　ゆうひ
あけまち　大吉
そのまち　ゆうひ

つろうそ
あうく　とあの女
ちんさん　あさら
ちろさん　ばさ
かろさん　ちのこ
ひとへ
つろ紫
あまち
かをよ
おうたら

ありむく
ちさよ

伊勢屋

賀屋

錢屋

俳

世に出

世文　山口屋嘉右衛門

世文　富田屋利右衛門

富屋

かくし　二浦諸三郎

梅小路

大宮

梅川

梅の宮

梅ヶ畑

梅ヶ辻

梅ヶ枝

梅ヶ谷

梅ヶ島

梅ヶ原

梅ヶ丘

梅ヶ瀬

梅ヶ谷

梅ヶ山

梅ヶ枝

かくし　二浦諸三郎

かてうさんの

すまの

くらもち

ゆうさん

ゆうさん

ゆうさん

的店

的店

桐屋

〃 松もの

〃 みさを

〃 あさの

〃 松し

〃 ちけおう

〃 ふさらま

〃 さの

〃 ふなう

〃 やりて

恋文

さり巻三左馬

銀屋

山屋

玉屋

新町中の町名

伊勢屋ゆうるん

《▲うあ山《▲正ん寺　ゆきとり山
《▲大きい《▲とのう　山さき
《▲とみ山　花月
《▲りんさん　さいたん
《▲おとは　ろうと
《▲そあ山　ゆまち
《▲まんま　物紫
《▲いさえ　ろう山
《▲ろうさん　ゆつまて
《▲たつ寺　ろう山
《▲ろうさん　ゆきあさ

大麦屋久左衛門

《▲ろうの　山中
《▲あ一ぱな　ろう川
《▲ふうろう　ゆきあ
《▲とよ山　ゆうえ
《▲ゆきとち　ゆうえ
《▲ゆうえ　ゆうえ
《▲ゆうえ　ゆうえ
《▲ゆうえ

文章

大こく屋長兵衛

迎江屋吉右衛門

いろはや

山本

山本助左衛門

巴屋三郎右衛門

九郎次稲荷大神

享保十九
正一位稲

加賀屋

加賀屋義方

四辰

▲貳日如来　庵主　道西

加賀屋

加賀屋義右衛門

越路

加賀

中田屋

松ゑん
あやよ

ものおの
川さき
さんきち
せきべえ
さんさん

三浦屋

三浦屋表紙

くさ川
あさう
わうたま
よしの
えんの

ちうう
まんよ

加賀屋

加賀屋八
章

鶴屋
俵屋
玉

四

さらい屋弟たち

四

ひらのや太郎兵衛

四

たま屋弥太郎

四

ひさう屋こたち

四

四

四

四

四

四

四

代通わげ屋町まち

四
つ
つ
つ
つ
つ

つ

つ

つ

三ぐうの屋敷七

山川屋六郎家

元文六

110X
668
154
15

ヲ去九百六十二年

110X
668
154
15